

— NO. 196 5月号

FOREST NEWS

広げよう
地球と命を守る
森づくり運動



2024年度 指標

- ①パンタナール地域における潜在自然植生の混植密植形式の植樹の実施
- ②国内において累計500本の植樹活動
- ③植樹を通じた環境問題解決のロールモデルをつくる
- ④セミナーを通じて植樹活動の啓蒙
- ⑤他団体との連携

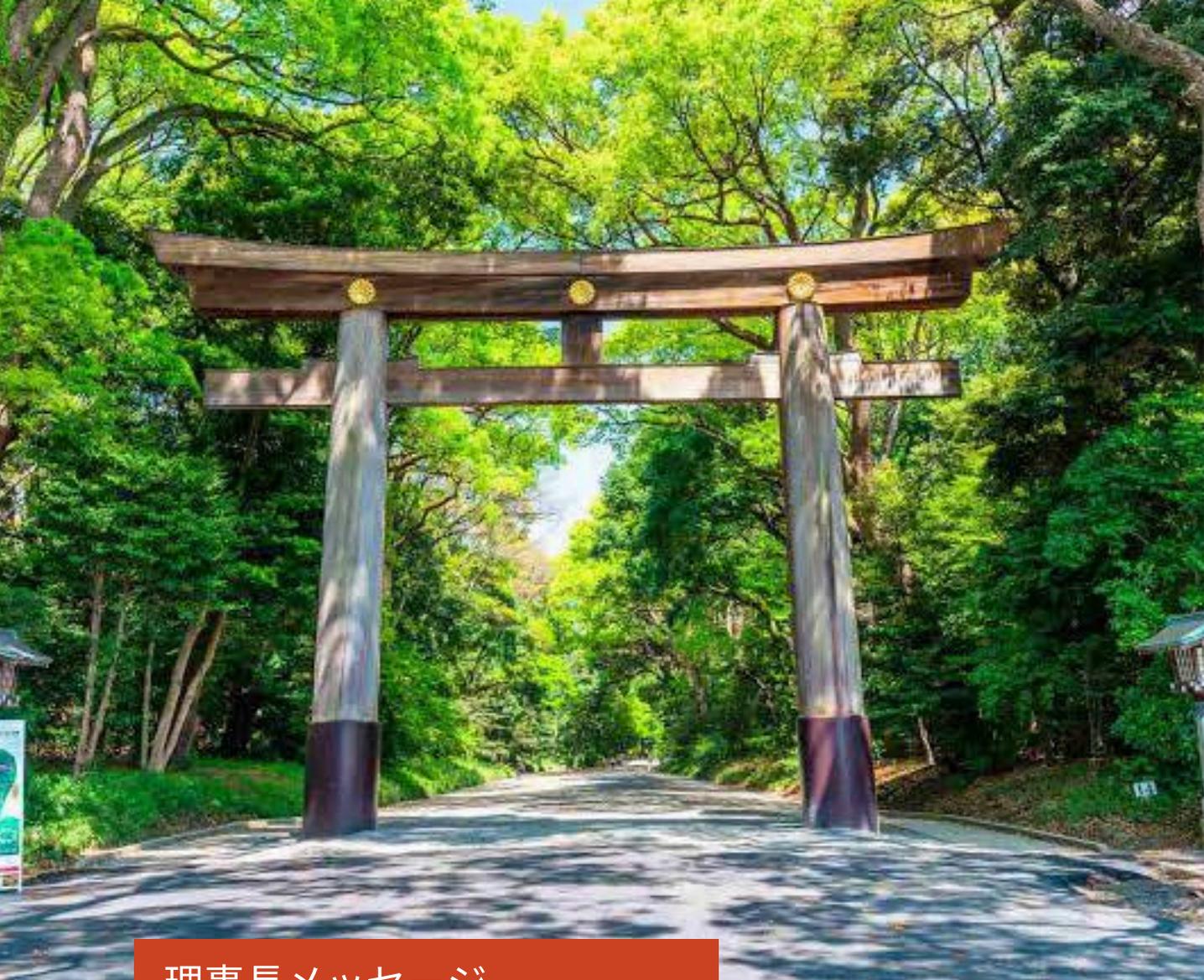
NPO法人 地球の緑を守る会

発行人 高津啓洋

〒121-0072東京都足立区保塚町1-6

Tel:03-6783-4707 Fax:03-6783-5595

ホームページ <http://midori.mond.jp/>



理事長メッセージ

鎮守の森 を世界へ広げよう！

～土地利用のもっとも大切な概念、「潜在自然植生」を知る手がかりとなった鎮守の森～

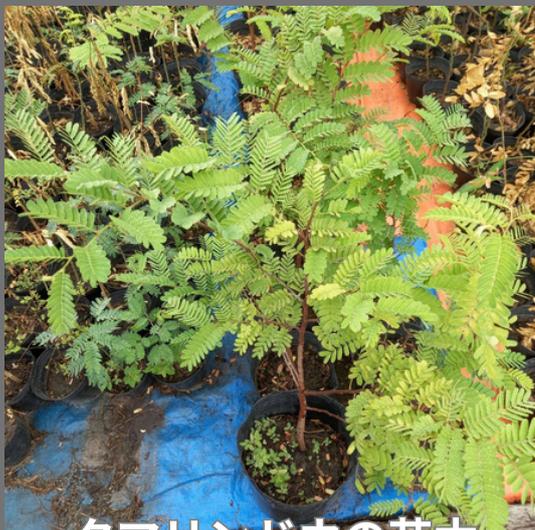
鎮守の森はタイムカプセルです。そこは、日本人の歴史と伝統と文化が濃縮された時空です。鎮守の森は、日本人古来の英知であり、未来に引き継ぐべき財産です。また、現代的意味では、「防災・環境保全林」であり、癒しと憩いの場所でもあります。私たちの先人は、新しい集落や町をつくる際、一方では自然を破壊してきましたが、もう一方では"ふるさとの木によるふるさとの森"を残し、守ってきました。これは世界に類を見ないことです。災害が多発するわが郷土、「千年続くいのちの森づくり」を合言葉に、日本再生の足

がかりとなるほんものの森を、鎮守の森をモデルに、私たちの手で作りましょう。日本は戦後めざましい経済発展をなしとげました。テレビをはじめとする家電製品、半導体、自動車、新幹線鉄道網の技術を世界に輸出し、経済大国となりました。しかし、かつて途上国といわれた国々が今ではそれに追いつき、日本の独創的輸出品目はほぼなくなりました。いま世界中の人々が、環境危機を脱して、安全で豊かな住環境を必死に求めています。今こそ、日本人しか知らない独創的プロジェクト・鎮守の森を「いのちの森」「平和の森」として世界に広く発信すべきです

パンタール植樹にむけて



ラパチヨの苗木



タマリンドウの苗木



ケブラチヨの山から移植した苗木



アルガロボの苗木

当法人では、パンタール地域での混植・密植方式による植樹プロジェクトを進めています。固有種の苗木を準備し、LEDA敷地内に適切な場所を選定、マウンドを構築して植樹します。パンタール地域の生態系の復元と生物多様性の促進のロールモデルを確立、パラグアイ環境庁への啓蒙を行っていかねばならないと考えています。今年9月には現地パンタールに当法人を代表して派遣員を派遣します。

植樹ボランティア募集！！

期間：2024年8月～9月

場所：パラグアイ パンタール地方

人数：3名 費用：飛行機代+保険代

※関心のある方は事務局まで連絡ください！



今月のトピック

国内活動

一般社団法人Si lva主催の第26回湘南国際村めぐりの森植樹祭に参加してきました。全体の参加者は200人以上？ その中で同会員7名で合計70本の植樹をしました。



YouTube チャンネル
植樹のギモン答えます

《ギモン 2》

森と海が密接な関係があるというの
は本当ですか？



YouTube動画「植樹のギモン答えます」では高津理事長が植樹における様々なギモンを軽やかに答え、植樹と自然環境の関係をより身近に感じることができる動画です。是非、左のQRコードからご覧ください！